

## 【No.11】 解答.3

該当講義動画 数的処理1章10節「確率(基本編)」～数的処理1章12節「条件付き確率」

数的処理1章10節「確率(基本編)」 [https://youtu.be/y\\_sqxhjnJk](https://youtu.be/y_sqxhjnJk)

数的処理1章11節「確率(演習編)」 <https://youtu.be/twKCs8uYue8>

数的処理1章12節「条件付き確率」 <https://youtu.be/NAvdksAvygs>

確率問題は、公務員試験で出題されやすい分野である。しっかりと基本的な考えは理解しておこう。上記の基本講義で基礎をしっかりとおさえておいてください。

### 解説)

少なくともAB間、BC間、CD間のいずれかで渋滞に巻き込まれる確率というのは、どこか一箇所でも渋滞に巻き込まれる確率ということになる。すなわち、起こりうる全ての事象の確率の和(すなわち1)からどの間でも渋滞に巻き込まれなかった場合の確率を引けば良い。

どの間でも渋滞に巻き込まれない確率は

$$(1 - 0.2) \times (1 - 0.1) \times (1 - 0.3) = 0.8 \times 0.9 \times 0.7 = 0.504$$

よって求める確率は

$$1 - 0.504 = 0.496$$

となり、選択肢3が答えとなる。